



photos: © Yuji Hori

外山啓介 Keisuke Toyama, piano

札幌市出身。2004年、第73回日本音楽コンクール第1位。
 2006年、東京藝術大学卒業後、ドイツ(ハノーファー音楽演劇大学)留学を経て、
 2011年東京藝術大学大学院を修了。
 CDデビューは2007年『CHOPIN: HEROIC』。サントリーホールを始め
 各地で行なわれたデビューリサイタルが完売となる。
 その後2008年『インプレッションズ』、2009年『ラフマニノフ』(「レコード芸術」誌特選盤に選出)、
 2010年『幻想ポロネーズ』と毎年新作CDを発表し、2011年には初のベスト盤をリリース。
 2013年にはベルギーにてフランダース交響楽団定期演奏会に出演しヨーロッパ・デビュー、
 最新CD『展覧会の絵』をリリースし「レコード芸術」誌特選盤に選出された。
 各地主要オーケストラとの共演も多数あり、全国リサイタル・ツアーを毎年実施するなど、
 今後さらなる飛躍を期待されるピアニストである。

〈外山啓介オフィシャルサイト〉 keisuke-toyama.com

今回は、3人の大作曲家の名作ピアノ・ソナタをプログラミングしました。
 モーツァルトの、誰もが耳にしたことのある
 「トルコ行進曲」を終楽章に持つ「第11番」と1曲目の「ロンド」は、
 同じイ音を主音とした長調と短調です。
 その対比もお楽しみ下さい。

ベートーヴェン自らが標題をつけた「悲愴」は、
 一説によると音楽家にとって致命的な病を患ったことによる
 深く大きな悲しみが込められているとも言われている傑作です。

後半はリスト。甘美な「愛の夢」から、最後は「ロ短調ソナタ」。
 膨大な数の作品を残したリスト唯一のピアノ・ソナタであり、
 およそ30分にも及ぶ大作にもかかわらず単一楽章で書かれており、
 当時の音楽界に賛否両論、非常に大きな影響と波紋を与えた
 革新的な作品です。リストが最も充実した時期に
 批判を恐れず自分自身を思うままに表現したこの作品を
 全国ツアーで取り上げることは、
 私自身にとって30歳の節目としての大きな挑戦です。

少しずつ異なる時代を生きた作曲家の代表的な、
 そして大好きな名曲を演奏出来る機会に
 恵まれたことを、心から幸せに思います。
 皆様と会場で素敵な時間を共有できることを楽しみにしております。

—— 外山啓介

Keisuke TOYAMA

外山啓介 ピアノ・リサイタル 今後のスケジュール

- 6/6 (金) [北海道] 旭川市大雪クリスタルホール
- 6/8 (日) [山梨] 清里高原ハイランドホテル
- 6/29 (日) [奈良] 橿原文化会館
- 7/12 (土) [静岡] 沼津市民文化センター
- 7/20 (日) [和歌山] 海南市民交流センター
- 8/30 (土) [名古屋] しらかわホール
- 9/6 (土) [東京] サントリーホール
- 9/12 (金) [北海道] 札幌コンサートホールKitara
- 9/27 (土) [大阪] ザ・シンフォニーホール
- 10/5 (日) [愛知] 豊川市小坂井文化会館フロイデンホール
- 11/9 (日) [岐阜] 下呂交流会館 泉ホール
- 12/14 (日) [千葉] 市川市文化会館

他、決定次第オフィシャルサイトにて順次発表

〈総合お問い合わせ〉チケットスペース 03-3234-9999

外山啓介 初のベスト・アルバム!

BEST

絶賛発売中!

収録曲

- 英雄ポロネーズ(ショパン) / バラード第1番(ショパン) / 舟歌 作品60(ショパン) / 子守歌(ショパン)
- ジムノペディ第1番(サティ) / ジムノペディ第3番(サティ) / 夜想曲第2番(フォーレ)
- 月の光(ドビュッシー) / 亜麻色の髪の乙女(ドビュッシー) / 亡き王女のためのパヴァーヌ(ラヴェル)
- パガニーニの主題による狂詩曲(ラフマニノフ) / 前奏曲《鐘》 作品3の2(ラフマニノフ)
- 練習曲《音の絵》 作品39の5(ラフマニノフ) / 練習曲《音の絵》 作品39の9(ラフマニノフ)

[録音] 2006~2010年 [収録時間] 約72分 AVCL-25735 定価3,000円(税込)

